



いとしま しりとしょかん
糸島市立図書館
じ どう しょ ほん しょうがくせい ばん
児童書おすすめ本 小学生版
No. 53



ねん がつはっこう
2026年7月発行

いよいよ夏休み。海や山で遊んだりいつもできないことに挑戦したり、楽しみがいっぱいですね。

涼しい場所でゆっくり読書をするのもいいですよ。図書館ではイベントや宿題応援コーナーもあります。

読みたい本や自由研究の本などを探しにきてくださいね。

おすすめのほん



◆よみもの

・読書初級者



『まゆとごちそう春夏秋冬』 七つのお話とお料理レシピ

とみやす ようこ／著 ふりや なな が
富安 陽子／作 降矢 奈々／画

ふくいんかんしよてん
福音館書店 2026.04 ¥1,800 (913 ト)

山姥母さんが、自然の恵みの食材でおいしいごちそうを作ります。タケノコごはん、よもぎ餅、寿司ケーキ…。山の仲間たちもやってきて、みんないっしょにいただきます!めぐる季節の中できり広げられる7つの物語と、レシピがのっています。

○この本があるところ → 糸島市図書館本館

・読書初級者



『こぐまたんていアイビー』 消えた伝説の花をさがせ!

クリスティーナ・リッテン／著 前田 まゆみ／訳

マガジンハウス 2026.03 ¥1,300 (933 リ)

100年に一度しか咲かない花がぬすまれた!こぐまたんていアイビーは、名たんていのおじいちゃんといっしょにじけんをそうさすることに…。お話を楽しみながら、たんてい気分15の問題にちょうせんしよう。植物やミツバチのことも学べて、めいろやえさがしなどのあそびものっているよ。

○この本があるところ → 糸島市図書館志摩館

『やさしさバトン』

どくしよちゅうきゅうしゃ
・読書中級者

あらい けいこ／作 あわい／絵
いわさきしよてん
岩崎書店 2025.11 ￥1,300 (913 ア)



つい損得で考えがちな小4の有咲は、職場体験で知り合った目の不自由な女の人との交流から、大切なものを受け取る。ことわざの「情けは人のためならず」ではないけれど、やさしさのバトンがつながっていくと、みんながしあわせな気分になれることに、有咲は人とのかかわりを通して気づいていき…。

○この本があるところ → 糸島市図書館志摩館

どくしよちゅうきゅうしゃ
・読書中級者

『窓のまどかさん』

ともしり しるこ／作 クリハラ タカシ／絵
こうだんしゃ
講談社 2026.03 ￥1,600 (913 ト)



真凛が体育館の窓をしめようとする、「しめないで!」と、窓から大きな声が聞こえた。「ええっ、だれ?」まわりにはだれもいない。すると、「まどかです」とまた声が聞こえた。しゃべれる窓のまどかさんは、窓の下に落ちていた指輪を、持ち主の先生に渡してほしいとお願いしてきて…。

○この本があるところ → 糸島市図書館本館



★ ★

★ ★

★ ★

どくしよじょうきゅうしゃ
・読書上級者

『神の蝶、舞う果て』

うえはし なほこ／著
こうだんしゃ
講談社 2026.01 ￥1,800 (913 ウ)



聖域<闇の大井戸>で、魔物から聖なる蝶を守る役目を負って暮らしている降魔士の少年・ジェード。ある日、相棒の少女・ルクランが、<予兆の鬼火>に触れる事件が起き…。『子どもプラス』連載を加筆修正。

○この本があるところ → 糸島市図書館二文館

どくしよじょうきゅうしゃ
・読書上級者



○この本があるところ → 糸島市図書館本館

『音符がいっぱい』

まはら みと／作 あわい／絵

いわさきしよてん
岩崎書店 2026.04 ¥1,500 (913 マ)

昨年学級崩壊を経験した小学5年生のクラス。担任のヒカル先生の急な休職により、代理教師としてやってきた67歳の森田先生は頼りない。不安な空気の中、自立たない男子、朝日が音楽発表会の指揮者をするに。リーダー的存在の女子、彩加と奮闘する朝日だが…。



★ ★

★ ★

★ ★

◆科学・知識の本



○この本があるところ → 糸島市図書館二文館

『動かすのが楽しくなる手のひみつ』

根橋 明白美／文 今泉 忠明／監修 植木 美江／絵

そうげんしゃ
創元社 2026.04 ¥2,500 (491 ネ)

朝起きてから、どんなことに手を使いましたか？コップを持ったり、ボールを投げたり、友だちに手を振ったり…。わたしたちの手はとってもはたらき者。人の手のすごいつくりから、動物たちの手、人が手をどのように使っているか、手にまつわる雑学まで、ひみつでいっぱいの手の世界を案内します。



○この本があるところ → 糸島市図書館志摩館

『さかのぼってわかる発明・発見図鑑』

森下 信／監修 造事務所／編著

カンゼン 2026.03 ¥1,800 (507 サ)

家電、日用品、食べ物や飲み物、機械、乗り物、社会で使われているしくみ(システム)について解説した図鑑。それらが発明・発見されてから今日までの改良や工夫などに注目し、時間をさかのぼるかたちで説明します。さかのぼってみると、それが使われてきた社会のようすも同時に知ることができます。



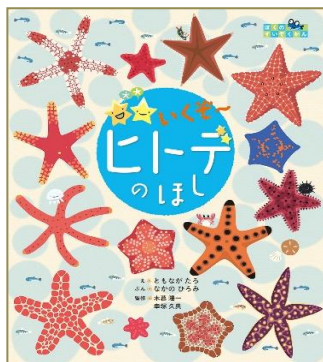
『牛革のランドセルができるまで』 手から手へ、皮から革へ。

かみよしかわ ゆういち しゃしん ぶん
上吉川 祐一／写真・文

ぶんいちそうごうしゅつばん
文一総合出版 2025.09 ￥2,200 (E カ)

ぎゅうかわ
牛革のランドセルは、もとをたどれば「牛の皮」。いのちあるものが、どのようにして革製品へと生まれ変わるのでしょうか。毛がついた大きな牛の「皮」が、職人の手によって「革」へと変貌していくようすを、写真でしようかいします。

○この本があるところ → 糸島市図書館本館



『いくぞ～ヒトデのほし』 (ぼくのすいぞくかん)

ともなが たろ／え なかの ひろみ／ぶん 木暮 陽一／監修

こうつか ひさのり かんしゅう アリス館 2025.07 ￥1,500 (E ト)

そらのほしたちが、ヒトデたちにあいにやってきた。ヒトデは、ふかいふかいまっくらなうみにも、こおりそうにつめたいうみのそこにもいる。こんにちは、イトマキヒトデさん。すてきな五角形だね。目や口はあるの？おしりはどっち？あしはあるの？さまざまなヒトデについて、かわいいイラストでしようかいします。

○この本があるところ → 糸島市図書館本館

『野鳥はともだち』

バードウォッチングをひろめたフローレンス・メリアム・ベイリー

ジェス・キーティング／文 デヴオン・ホルズワース／絵 さくま ゆみこ／訳
子どもの未来社 2026.01 ￥1,800 (E ホ)



しぜん のなかに入っていき、鳥を見るのが大好きだったフローレンス。そのころ、野鳥はぼうしのかざりに使われていました。「鳥は自由に空を飛んでこそ!」と信じるフローレンスは、当時は一般的ではなかったバードウォッチングをひろめていき…。野鳥の魅力をつたえ、保護活動が続けた鳥類学者の伝記絵本。

○この本があるところ → 糸島市図書館二丈館



紹介文：TRC MARCより引用

糸島市図書館本館

☎ 321-1432

糸島市図書館二丈館

☎ 332-2118

糸島市図書館志摩館

☎ 332-2119

<http://itoshima.libweb.jp>

